

尾張旭市営バス指定管理者の候補者の選定結果

令和４年５月に下記施設の指定管理者を募集し、応募のあった１団体について指定管理者選定会議を設け、以下のとおり指定管理者の候補者を選定した。

１ 対象施設

尾張旭市営バス

２ 選定会議の経緯

回 数	開 催 日	主 な 内 容
第１回	令和４年７月１日（金）	審査方法の説明、書類審査、応募者への確認事項等意見交換
第２回	令和４年７月７日（木）	プレゼンテーション、ヒアリング、評価及び候補者の選定

３ 指定管理者の候補者

豊田市深田町一丁目１２６番地の１

豊栄交通株式会社

４ 審査基準及び審査結果

審 査 基 準	評 価 点	
	配点	豊栄交通株式会社
(1) 利用者の平等利用の確保及びサービスの向上	１００	７２
(2) 公の施設の効用の最大発揮及び管理経費の縮減	１７５	１１９
(3) 管理を安定して行う物的及び人的能力	１２５	９５
(4) その他の要件	１００	７９
評 価 点 合 計	５００	３６５

５ 選定理由

(1) 利用者の平等利用の確保及びサービスの向上

尾張旭市営バスの設置目的及びその役割を理解した上で、利用者に寄り添った運営方針が採られている。また、高齢者はもちろん、妊産婦や障がい者に対するきめ細かい配慮が提案されており、誰もが利用しやすい環境づくりが期待できる。加えて、車内消毒等による新型コロナウイルス感染症などの対策が提案されており、市民が安全安心に利用できるよう配慮がなされている。

バス運行時に起こり得るトラブルをまとめ、営業所内で情報共有することで、トラブルの未然防止策及び発生時の対応体制が整えられている。加えて、トラブル発生時の対応マニュアルを用意しており、トラブルが発生した際、適切に対応できるように対策している。

(2) 公の施設の効用の最大発揮及び管理経費の縮減

潜在顧客を獲得するため、年末における運行を提案しているほか、イベントでの乗車体験等を提案しており、利用拡大が期待できる。

従来のバス側面に広告を掲示し広告収入を得る提案だけでなく、バスの車内モニターを活用したデジタルサイネージでの広告を展開し、その利益の半額を市へ還元するといった提案がなされており、利益の一部がより多く市へ還元されることが期待できる。

整備士の講習会を恒常的に行うことで、日々の予防整備の質を高め、故障のリスクや修理費用を抑えることで、コスト縮減につながる。また、故障のリスクを抑えることは、事故の防止にもつながり、市民が市営バスを安全安心に利用できる。

さらに、他社と連携し、事故防止に関して意見交換を行っており、他社のノウハウを運行にいかすことで事故防止策の改善や向上が期待できる。

(3) 管理を安定して行う物的及び人的能力

物的能力である団体の経営安定性については、行政の路線バス運行等を主軸に安定した営業利益を確保しており、自己資本利益率が非常に高い水準であり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい交通事業者であっても経営安定性に優れているといえる。

人的能力について、業務運営に必要な資格を有する者を多数配置することで、専門の知識を持った人員による高い質のサービスを提供できるように図られている。また、管理運営や研修体制を整え、職員のサービスへの意識や技術の向上に努めていることも評価できる。

(4) その他の要件

自主事業として、イベントにおいて啓発活動を行うことで、普段、市営

バスを利用していない方々がバスをより身近に感じられるような提案がされており、新たな利用者の獲得が期待できる。

運営実績として、他団体や類似施設の管理運営実績が豊富であることに加えて、本施設において、安定的に利用拡大が図られてきた実績から、今後も本施設の管理運営を行っていく能力を十分有していると認められる。